

■■■受験対策ミニ講座 17号 2019■■■

いよいよ国家試験が近づいてきました。時間配分はうまくいきそうですか？

今回の過去問の科目は午後の最後から二番目「就労支援サービス」です。この科目は、最後の「更生保護制度」と2科目で1科目扱いとされます。つまり最後は2科目で1つ正解すれば、0点にはならないということです。こういうことも知っておくと少し安心材料になりますね。

今回のコラムは、試験日に関することです。あなたの試験会場はどこですか？試験会場までの交通経路を確認しておきましょう。

【問題 17 28回 143】

雇用・就労に関する用語の説明として正しいものを1つ選べ。

- 1 ディーセントワークとは働きがいのある人間らしい仕事のことをいう。
- 2 ニートとは、就労に向けて職業準備中の若年者のことをいう。
- 3 ホワイトカラー・エグゼンプションとは、事務職の労働時間の厳格な制限のことをいう。
- 4 ワーク・ライフ・バランスとは、定年退職後に安定的な生活を図ることをいう。
- 5 ワーキングプアとは、就労できないために貧困状態になることをいう。

正解と解説は最後に記載しています。

■Plus Column

【常に心に転ばぬ先の杖】

地震や大雪などによる災害は、いつどこで起きても不思議はありません。災害時にはいち早く被災地に駆けつけるソーシャルワーカーですから、多少のハプニングには動揺することなく冷静に対処したいものです。今できることは、どんな事態に対しても平常心を保つことができるよう出来る限りの準備をしておくことです。

試験会場に駐車場はなく、『受験の手引』にも「必ず公共交通機関を利用すること」とされています。当日はたくさんの方が会場に向かうわけですから、近隣住民への配慮からタクシーの利用や車での送迎も禁じられています。会場では試験業務を行っていないため、会場に電話等で道順を照会することなども固く禁じられています。

できるだけ、最寄り駅から試験会場まで道を歩いて確かめておくことをお勧めします。会場内の下見はできませんが、近くのコンビニや駅のトイレの場所などをチェックしておくことはできます。公共交通機関の経路は、いろいろな事態に備えて複数確認しておくことも忘れずに。

試験は時間との闘いです。携帯電話は机に出すことができないため、必ず腕時計を用意しておきましょう。会場に掛時計があったとしても、座席によっては見えないこともあります。

『受験の手引』には、冒頭でご紹介した2科目で1科目扱いの科目群のことや合格基準についても説明されています。「ひざかけ等の防寒対策」や「耳栓不可」、「ゴミの持ち帰り」などの、細かい注意事項もあります。もう一度手にとって確認しましょう。会場によっては上履きが必要なこともあるので、各自確認してください。

諸々、準備しながら平常心で残りの日々を過ごしましょう。次回は「当日の持ち物」について詳しく特集します。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【問題 17 28回 143 正解と解説】

- 1 ○ディーセントワークについては、ILO（国際労働機関）が定義している。
- 2 ×正しくは、「15歳～34歳の非労働力人口のうち通学・家事を行っていない」若年無業者のこと。
- 3 ×正しくは、主にホワイトカラーといわれる事務職を対象に、労働時間規制を適用除外とする制度。これが適

用されると超過した賃金の支払いはされない。

4 ×正しくは、「仕事と生活の調和」を意味し、すべての人が対象で定年退職後に限らない。

5 ×正しくは、「働いても生活維持が困難な貧困層」のこと。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus